

# 相模

第511号

平成30年1月1日

# 初詣

平成三十戌戌歳

# はじまりは ここから

相模國一之宮

# 八方除 寒川神社



眞澄

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 6 4 2

神社の素朴なまじもん

青少年だより・病院だより

寒川俳壇・相模詠草・人事

八方除解説

御社殿御造営竣工20年記念事業

開催50回記念事業

寒川神社菊花展・写真展

NY見聞録

第50回菊花展・写真展入賞者芳名

平成29年篤志奉納者芳名

新嘗祭奉納者芳名

迎春ねぶた紹介

社頭動静

浄闇の祭典 追儺祭

特集 年年祭歳

平成30年 年頭の御挨拶



【神苑に春の訪れを告げる白梅】  
※例年3月上旬が見頃です。

かん たけ やま しん えん  
神嶽山神苑  
3月1日(木)より開苑予定

春の息吹を感じる神苑で大神さまとのお神縁を深めましょう

神苑内では

茶屋「和楽亭」にて抹茶と和菓子をお楽しみ頂けます。(500円より思召し)  
石舞台にて神楽舞と雅楽の奉奏を開催いたします。期日は決まり次第神社ホームページへ掲示します。

## 節分祭のご案内

立春の前日である2月3日(土)、邪気災厄を祓い開運招福を願う「節分祭」が斎行され、古式に則り、追儺神事が執り行われた後、特設櫓上より豆撒きを行います。

この神事に奉仕される年男・年女の皆様を下記により募集致します。

### (要 項)

- 日 時 2月3日(土)  
午前11時  
(町内在住の方)  
午後2時  
(町外在住の方)
- 初穂料 金1万円
- 申 込 神社窓口へ直接お申込みください
- 〆 切 1月25日(木)



高座氏子総代会主催

## 第42回伊勢参宮旅行のご案内

毎年多くの氏子崇敬者のご参加を頂き実施しております伊勢参宮旅行は本年で42回目を迎えます。

清き川の流れと、緑深き静寂の森。「日本人の心のふるさと」伊勢神宮で、その荘厳な空気を五感で体験してみませんか？

本年は伊勢の神宮の他、大己貴命(大国主命)を祀る三河國一之宮・砥鹿神社をお参りします。

皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。



### (要 項)

- 日 時 3月4日(日)～3月6日(火)
- 募集定員 120名
- 参加費 48,000円  
(交通費・宿泊費・食事代・神宮神楽料含む)  
※宿泊の同部屋希望は追加料金あり
- 〆 切 1月30日(火) ※定員に達し次第〆切

お申込み・お問合せ 寒川神社総務課 ☎0467(75)0004(代)

## 祭典と行事のご案内

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1月 1日 0時        | 八方除祭          |
| 1月 2日 6時        | 引続き 元旦祈禱祭     |
| 1月 3日 8時        | 歳旦祭 引続き 末社歳旦祭 |
| 1月 8日 10時       | 追儺祭           |
| 1月 11日 11時・14時  | 元始祭           |
| 1月 10日 10時      | 武佐弓祭          |
| 2月 3日 10時       | 節分祭           |
| 2月 8日 10時       | 紀元祭並顕彰奉告祭     |
| 2月 11日 10時      | 顕彰式           |
| 3月 17日 10時      | 祈年祭並田打舞神事     |
| 3月 21日 10時      | 安藤由勝大人命       |
| 3月 21日 10時      | 伊集院直彦大人命      |
| 3月 21日 10時      | 他命等慰霊祭        |
| 3月 13日 13時      | 末社御祖神社        |
| 3月 14日 14時      | 春季霊祭並合祀祭      |
| 3月 14日 14時      | 宮山役員改選奉告祭     |
| 毎月 1日・20日 8時30分 | 月次祭           |

(1月1日除く)









# 浄闇の祭典 追儺祭

## 追儺とは

寒川神社では毎年1月2日、境内の明かりがすべて消された浄闇の中で「追儺祭」が厳粛に斎行されます。

「追儺」とは「鬼やらい」とも呼称され、模範的な所作により厄災を追い払う神事であり、古代宮廷においては12月晦日、方相氏と呼ばれる鬼を払う役目を負った役人（大舍人）が鉦と盾を打ち鳴らすことで疫鬼を払う行事が行われていました。平安時代末期には、この方相氏を鬼と誤認し、群臣が追いつく演出が行われるようになり、今日の「節分」へと繋がっていったと考えられています。

追儺神事は今も全国各地で見受けられ、吉田神社（京都市左京区）では毎年2月2日に宮廷行事である追儺式に則した方相氏による疫鬼を払う「鬼やらい」、長田神社（神戸市長田区）では毎年2月3日に多種多様の鬼が主役となる「古式追儺式」が斎行されます。また九州地方では太宰府天満宮（福岡県太宰府市）の「鬼すべ」、大善寺玉垂宮（福岡県久留米市）の「鬼会」など鬼を外へと追いやる追儺神事が執り行われています。

これらの追儺神事には、追われる対象たる「鬼」もしくはそれに相当するなる一方、そのものが持つ呪術的な側面から様々な神事や祭祀に用いられていました。「宝物かぞえ」は矢の名称を呼称することにより、その霊力を以て悪疫を退けようとする作用の現れであると推測できます。

## 寒川神社の追儺祭

1月2日午後8時、宮司以下祭員並びに副士と呼ばれる社人5名により神事が執り行われます。宮司以下祭員は本殿内にて神事斎行後、祭場へと移動しますが、宮司は副士長より兜・金木・太刀・弓矢を受け取り、社殿内に留まります。

宮司以外の祭員と副士は外庭神門前へと参進し所定の位置に着くと、境内の明かりが消され、追儺神事が行われます。

祭員は副士長より兜・金木・太刀を渡され、副士長が神事を奉仕する人数を確認（人数改め）した後、これらの祭具を身に付けて神池橋まで参進します。

次に、祭員は神池橋付近にて副士長より弓・矢を受け取り、続いて副士長により「清前」と呼ばれる御神水が南側に3か所、北側に3か所に撒かれます。続いて各種矢を数える「宝物かぞえ」が執り行われると、今度は内庭西門前へと移動し、同様の神事が執り行

## 水と音による追儺

し、悪疫を退けようとする意図があるのではないのでしょうか。

寒川神社の追儺祭は、他社のように目に見える形の鬼は登場しません。しかし神事の目的はまさに「追儺」であり「悪疫」を退けることにあります。

「難波の小池」の御神水を境内に散布することにより悪疫の侵入を防ぐとともに、その名を奉唱することで御神威を発揚し、悪疫を退ける作用があります。つまり寒川神社における追儺祭は「水」と「音」によって境内を清める形態を有した祭祀であると考えられるのです。

## 難波の小池の重要性

当神社の追儺祭において「難波の小池」の存在は、最も重要な要素と考えられます。難波の小池の御神水は「清前」と呼ばれ、神事の中で境内に散布されます。これは難波の小池の霊力を以て悪疫を払う所作であると考えられ、先述した通り、神池橋付近と内庭西門前の2カ所に散布されます。この場所は境内と外とをつなぐところであり、「清前」は悪疫の侵入を防ぐために現世と常世の端境に撒かれる「結界」としての役割を有していると考えられます。

また境内を移動する際に祭員は報鼓の合図に続いて「難波の小池」と奉唱しながら進みます。本殿の真裏に位置する「難波の小池」は、古くから寒川神社における重要な存在であり、その名を奉唱することにより御神威を発揚



清前

## 宝物かぞえ

「宝物かぞえ」は副士長を中心に執り行われ、祭員に対して宝物を確認し、それに答える形で執り行われます。読み上げられる宝物は「矢」であり、

「宝物かぞえ」は副士長を中心に執り行われ、祭員に対して宝物を確認し、それに答える形で執り行われます。読み上げられる宝物は「矢」であり、

各々に特徴的な名称（左の通り）が付与されています。現儀においては、神池橋付近と西門において執り行われ、各場所によって若干文言が異なります。「鶴羽矢・山鶏羽矢・茅羽矢・雉羽矢・御鶴羽矢・御鷺羽矢・御鶉矢」の7種類の矢の名称が登場しますが、実物の矢は存在せず、それぞれの矢が何を指しているのかも定かではありません。また、矢を数えるにも関わらず、番える所作も一切ないなど、この「宝物かぞえ」は不明なことが多く、神秘的な謎に包まれた神事であるといえます。弓矢は、戦いにおいて重要な要素と

## 宝物かぞえ

### 《西門周辺》

鶴羽矢有  
山鶏羽矢有  
茅羽矢有  
御鷺羽御鶉矢有  
鶴羽矢有  
矢厚矢有

はややあつ  
おこしきやあつ  
ともややあつ  
おこしきやあつ  
おんだらせおんじょうずやあつ  
はややあつ  
やあつやあつ

### 《神池橋周辺》

鶴羽矢有  
山鶏羽矢有  
茅羽矢有  
雉羽矢有  
御鶴羽矢有  
矢有矢有鶴羽矢有

はややあつ  
おこしきやあつ  
ともややあつ  
ほたてやあつ  
おんばかせやあつ  
やあつやあつはややあつ



# 寒川さんの鈴の音ね

※鈴の音を「祈り」の象徴ととらえ、当社社の折々の出来事をその音に乗せて皆様にお伝えするという意味を込めました。

## 御社殿御造営竣工二十年奉告祭

# 平

成9年10月、今上陛下の御大典（踐祚から即位礼、大嘗祭に至るまでの一連の儀式）を寿ぎ「平成の御大典奉祝記念事業」として進められた御社殿御造営（お建替え）の大事業がめでたく竣工しました。

昨年10月、竣工より数え20年という大きな節目を迎え、この慶事を祝うべく、責任役員、総代、御造営当時の建設関係者など多くの方にご参加頂き、奉告祭を斎行しました。

祭典当日が末社宮山神社の神幸祭と重なったことから、宮山神輿愛好会及び友好団体による寒川町内の御神幸を終えた神輿が特別に境内を巡行し、御社殿御造営竣工20年の佳節に華を添える形となりました。

当社社は約一六〇〇年の長い歴史の中で、幾度となく御社殿の御造営が行

じに記載）されました。祭典終了後には、参集殿において記念式典が開催され、一年間の篤志奉納者と第50回菊花展・写真展に入賞された方々（御芳名は10・11ページに記載）の表彰を行いました。また菊花展・写真展が50回の節目を迎えたことを記念して、長年に亘り当

われ、生まれ変わりを繰り返してきました。その中であつても、神様を「祀り」、そして「祈り」を捧げるという本質的な部分は、いつの時代も変わることなく常に守り続けてまいりました。これからも、御参拝の皆様にご寄り添った神社でいられますよう邁進してまいりますので、変わらぬ御崇敬を賜りますようお願い致します。

## 神嘗奉祝祭

# 伊

勢の神宮において斎行される年間一五〇〇にも及ぶ祭典の中で、最も重儀とされるのが「神嘗祭」です。その年に収穫された新穀を天照大御神に捧げ、その恵みに感謝する祭典で、神宮では、この祭典に合わせて御装束・祭器具が一新されます。

20年に一度斎行される「式年遷宮」は大規模な神嘗祭であるとも考えら

神社の菊花展・写真展に多大なるご功績のある皆様に対し特別表彰を行いました（御芳名は12ページに記載）。



【写真】  
①教養研修会  
②煤拂祭  
③新嘗祭「豊稔の舞」  
④御社殿御造営竣工20年記念神輿渡御  
⑤第50回菊花展

れ式年遷宮後最初の神嘗祭を特に「大神嘗祭」ともいいます。

10月17日には皇大神宮（内宮）において、天皇陛下が遣わされた勅使により奉幣が行われ、同日天皇陛下には皇居神嘉殿にて皇大神宮を御遥拝になられます。

このような、日本人の生活の根源ともいえる重要な祭典が斎行される当日に、当社社でも神嘗奉祝祭を斎行し、神宮を遥拝致しました。

## 神宮大麻曆頒布始奉告祭

# 神

奈川県神社庁相模湘南支部の神宮大麻曆頒布始奉告祭が管内神社宮司参列のもと11月14日に斎行されました。

神宮大麻は天照大御神の神札のことをいい、新たな年も健やかに生活が営めるよう氏神様の神札とともに神棚にお祀りするお札です。

新しい神宮大麻をお受け頂き、清々しい新年をお迎えください。

## 教養研修会

例となっており、神奈川県神社庁相模湘南支部主催の教養研修会が2日間に

## 彬姫櫻植樹

12月21日、彬子女王殿下が御台臨のもと、彬姫櫻の植樹式が斎行されました。

この桜は、当社社の「神嶽山神苑」の造営工事を手掛け、「桜守」としても知られる植藤造園（京都市右京区）の16代当主・佐野藤右衛門氏が発見した新種の桜で、全国初の植樹となりました。

彬姫櫻は、平成28年に奉納された「やぶれ石」（国旗掲揚塔脇）に寄り添うように植樹され、春の訪れを静かに待っています。

※詳細は次号（社報『相模』第512号）にて特集致しますので、ご覧ください。



亘り、開催されました。

本年は、講師として元宮内庁掌典職掌典次長をお招きし「宮中祭祀の一年」とのテーマで、普段知ることのできない宮中での『祈り』を学ぶ機会となりました。

かつての国家的行事であった宮中祭祀は戦後、「天皇家の私的行事」とされ、国民に知られることはほとんどなくなりましたが、皇居の奥では神聖かつ神秘的な祭祀が連綿と続いており、天皇陛下の神々への感謝と国家国民の安寧を願う祈りの深さを窺い知ることができました。

初代神武天皇より続く宮中祭祀を後世へと伝えつつ、国民の幸せを第一に願う天皇皇后両陛下の思いなど、改めて考えさせられる研修会となりました。

## 新嘗祭

# 秋

祭りとも呼ばれ「三大祭」の一つ、新嘗祭が役員・総代・氏子崇敬者多数参列のもと厳粛に斎行されました。この祭典は、春の祈年祭と対をなす秋の豊かな稔りに感謝申し上げる祭典で、近隣の生産者より、丹精込めて作られた新米・野菜・果物など様々なものが所狭しと御神前に奉納（奉納者の御芳名は9ページに

## 祭典・行事のご報告

- 10月1日 末社宮山神社神幸祭  
御社殿御造営竣工二十年奉告祭
- 6日 相模國式内社の会総会
- 8日 寒川神社相模塾開塾
- 15日 人形感謝祭
- 17日 神嘗奉祝祭
- 28日～11月23日 菊花・写真展50回記念特別展示
- 11月3日 明治祭
- 4日 旧女子寮解体清祓
- 10・23日 第50回菊花・写真展
- 13・14日 相模湘南支部教養研修会
- 14日 相模湘南支部  
神宮大麻曆頒布始奉告祭
- 23日 新嘗祭

- 12月1日 社務所改修第1期工事竣工清祓
- 2日 宮山神輿愛好会  
奉納米献上神宮参拝
- 10日 女子寮改築工事地鎮祭
- 14日 煤拂祭
- 20日 迎春ねぶた設置
- 21日 彬姫櫻植樹
- 23日 天長祭
- 31日 師走大祓式並除夜祭  
神徳感謝祭

毎月1日・20日 月次祭











# 奉祝 御社殿御造営竣工20年

今上陛下の御大典を寿ぎ「平成の御大典奉祝記念事業」として進められた御社殿の御造営(お建替え)より20年を迎えました。各種記念事業を実施致しましたのでご報告します。

## 相模塾 開塾

10月8日、相模塾が開塾しました。神社の歴史は日本の歴史。神社や神道について学ぶことで日本の伝統文化の素晴らしさを改めて知って頂こうと、御社殿御造営竣工20年を機に第1期生を募集しました。開塾当日は、奉告祭斎行の後、開塾式を開催し、看板の除幕式と記念講演が開催されました。



▲除幕式 看板を揮毫頂いた学校法人皇學館・佐古理事長と利根宮司

※第1期入塾申込みは終了しております。  
第2期以降の募集については、本誌ほか当社ホームページ等にてご案内致します。

## 記念展示 「寒川神社 御造営のあゆみ」

御社殿御造営竣工20年を奉祝して、御祈祷受付所1階特設会場にて、記念展示「寒川神社 御造営のあゆみ」を開催しました。前号にてご報告の通り、江戸期から現在に至るまでの御社殿を再現したジオラマを目玉に、御造営の変遷について、初公開の資料も多数交えながら展示・解説しました。期間中は、約3,000名の方が来場し、御社殿御造営の歴史を、肌で感じて頂くことができました。



## ホームページ全面改訂



神社ホームページの全面改訂を実施致しました。平成22年の全面改訂より7年振りの改定となる今回は、従来の黒を基調としたものから白を基調にしたページに一新。御社殿御造営竣工20年を記念し、皆様に、より愛され、より魅力をお伝えできるものとなるようリニューアルを致しました。なお、今回のリニューアルにてスマートフォンへの完全対応並びに英語への対応も完了致しました。あわせて、寒川神社の四季折々の魅力、神事などを広く発信できるよう、公式のInstagramも開始しております。

※URLに変更はありません。



## 菊花展・写真展開催 50回

当神社の菊花展・写真展は昭和43年に「明治改元百年記念事業」の一環として開催が始まって以来、氏子・崇敬者の皆様による文化活動として毎年継承され、昨年の開催で50回という大きな節目を迎えました。この半世紀にも亘る歴史を記念し、昨年10月28日から11月23日にかけて特別展示を開催しました。菊花展は近隣菊花会にご協力頂き、例年の約3倍にも上るご奉納を頂き、菊花で相模國の原風景を再現し、七五三詣で賑わう秋の御社頭を華やかに飾って頂きました。写真展は、歴代神社本庁統理賞・宮司賞を86点展示し、御社頭の今昔を視覚的にご覧頂きました。また、この佳節に合わせ、菊花・写真展に御功績のある方々の特別表彰を行い、下記の通り39名の皆様が受彰の栄に浴されました。

## 菊花展・写真展開催50回記念 特別表彰 受彰者芳名

### 感謝状 受彰者 38名

多年に亘り、当神社菊花展に出展・奉納され、御社頭の隆盛に寄与された

多年に亘り、当神社菊花展・写真展に協賛され、御神徳の宣揚に寄与された

- |         |        |
|---------|--------|
| 寒川町菊花会  | 大和秋香会  |
| 茅ヶ崎茅秋会  | 厚木秋華会  |
| 海老名市菊花会 | 座間市菊友会 |
| 平塚菊花会   | 伊勢原秋豊会 |
| 藤沢菊花会   | 宿矢名菊花会 |
| 綾瀬菊花会   |        |

多年に亘り、当神社写真展に出展され、御社頭の隆盛に寄与された

- |       |       |
|-------|-------|
| 石井 吉雄 | 杉崎 信行 |
| 猿渡 政吾 | 柳 盛康  |
| 下里 勝二 |       |

### 宮司大賞

第28回(平成7年)宮司賞受賞



題「浜降祭宮出し」  
杉崎 信行

※歴代宮司賞受賞作品の中から選考

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 寒川町長          | 寒川町議会議長        |
| 寒川町教育長        | 茅ヶ崎市長          |
| 寒川町観光協会       | さがみ農協寒川地区運営委員長 |
| 日本郵便(株)寒川郵便局長 | 寒川ライオンズクラブ     |
| 寒川ロータリークラブ    | 横浜銀行茅ヶ崎支店      |
| 横浜銀行寒川支店      | 湘南信用金庫寒川支店     |
| 三井住友銀行藤沢法人営業部 | (有)田中写真        |
|               | 熊澤酒造(株)        |
|               | (株)三昭運輸        |
|               | (株)ニッポン放送      |
|               | 横浜エフエム放送(株)    |
|               | (株)読広エリア・アド    |
|               | (株)エフエム東京      |
|               | (株)ジェイコム湘南     |
|               | (株)テレビ神奈川      |

(敬称略)



# 寒川神社の 八方除



## 鬼門と裏鬼門

古来より日本では、鬼門（北東）は鬼が出入りする不吉な方向とされ、様々な災いが起こると忌み嫌われてきました。同様に、鬼門の正反対にあたる南西の方向（裏鬼門）についても、注意すべきものとして扱われてきました。四神相応の地として、地相的に最もふさわしいとされた京の都「平安京」では、政治的・宗教的に最適な場所にするため、徹底した鬼門・裏鬼門対策がなされたといわれており、如何に「方角」を重要視していたかが窺えます。

それでは、寒川神社はどうでしょうか。当神社は江戸（東京）から見て南西（坤）の地に鎮座しており、江戸（現在の皇居）の裏鬼門にあたります。また、通常社殿は南向き、もしくは東向きに建立されるのですが、当神社は南西を向いています。そのため、古くより閩八州の守護神として、また江戸の裏鬼門をお守りする神社として崇敬され、とりわけ八方除・方位除の神様として信仰されてきました。

## 方位学と八方除

人が行動する際、その行動には必ず「方向（方位）」が伴います。これに対して、目には見えない何かが作用し、法則性があるのではないかと、それを研究したのが「方位学」です。この方位学の研究こそが八方除と大きく関わっているのです。人はそれぞれの生年月日により「星回り」が異なる上に、時々により良い方角（吉方）と悪い方角（凶方）が発生します。人によって全く異なる方角の良し悪しをその都度見極め、失敗の恐れのない方角を選択し、健康で幸せな人生を過ごす一助とすることが最も理想であります。しかし、慌ただしい現代においては、たとえ住居・方角・運勢の良し悪しを判断できたとしても、仕事や学校の都合が優先され、なかなか思い通りにいかないのが現実であり、支配されている法則に則って生活するのは不可能に近いといえます。

## 唯一無二の御神徳

そこで、転ばぬ先の杖として大難は小難に、小難は無難に過ごせるよう、また悪い「気」をできる限り和らげ、良い「気」を呼び込み、日々穏やかに過ごせるように神様に祈るのが「八方除」です。

「八方除」は、地相・家相・方位・日柄などに起因する全ての悪事災難を取り除き、福德円満をもたらすとともに、如何なる状況にあっても積極的に生きていけるように導く寒川大明神の唯一無二の御神徳なのです。

○寒川神社の神札授與  
高座郡寒川村一宮國幣中社寒川神社に於ては例年の通り一月二日より古来有名なる八方除の神札を授與せらるる由なるが右は附近の信者のみならず遠く京濱間よりも多数の人々参詣して多きは数十体を拜戴し親族知己に配付して年内の凶事を去るを祈るに近年に當る者は自ら参詣して御神徳を此神札を受くるを以て例とすれば明年の當日も定めし願ふべしと

明治41年12月29日号「横浜貿易新聞」に当神社の「八方除」の記事が掲載され「古来有名なる八方除の神札を授与せらるる…多数の人々参詣して…」との記述があり、100年以上前から当神社の八方除の信仰が根付いていたことが窺えます。  
※横浜貿易新聞…現 神奈川新聞

## 寒川俳壇

輪唱の追いかけてくる落葉道  
小春日やふんわり乾く嬰の物  
水底に似て真夜中の冬の街  
一つ家に二つの余生返り花  
浦なりに映り冬めく舟屋の灯  
見なれたる庭も絵となる雪景色  
おとつとこぼしちやいけない新走  
雪近し熱き蕎麦食ふ深大寺  
墨の香を色紙に宿す文化の日  
今宵宿ヤビツ峠は雪タイヤ  
ぬくぬくと一汁五菜紅葉宿  
木枯や野に人の声犬の声  
縁小春老いたる母の針仕事  
熱き茶を両手でつつみ冬めきぬ  
欲言わぬ今は幸せ文化の日  
ふるさとへ久しく行けず冬めける  
禪寺の器冬めくお茶の会  
かみ合わせ話も笑顔小六月  
木枯やチャンバラごっこ声高し  
雪催ひ障子のあをみまさりけり

石原美枝子 根岸 君子 竹村真砂美 金指 月光 芹澤 徳光 露木てる子 宮入 つる 飛石 権花 菅沼 保幸 原野 楽天 金子 つち 菅沼うめの 松村 信篤 吉田 和美 倉谷 節子 伊藤 公一 松本美智子 猿渡 弥生 鈴木フミ子

## 相模詠草

留守の間にスイートピー置く友のありて春は一気に我が家に来たり  
裾野まで雪に被わる新玉の富士の雄々しも神宿るらむ  
臘梅の花さき染めて新年の日差の中に匂ひ頭ちくる  
一文字一文字ごといてねいに写経する吾の心すみくる  
初に聞く文教大生の和太鼓の力強さよ若さあふれる  
もみじ葉の紅きが空に浮き出て玉砂利歩く秩父神社  
なにげない一言だから注意して言葉選びつはなさかせよう  
田の畦を赤く染めたるまんじゅしやげ古里遠く母もいまさず  
力抜き湯船の中でゆつくりと手足をのばし新年迎かう  
思い出は吾の道連れいつまでも色あせるなく美しくあれ  
倒伏も無く台風を遣りすこし稲田さやかな捻り色なす  
難多き年は終りぬ新年は心豊かに安らかな日を  
東の空に双手をさしのぶるこの新年に平安あれかし

安藤 慧 亀山 文子 平澤まさえ 吉田 幸子 宮治友美枝 徳江 道子 土屋トミ子 稲垣 武子 山口 幸子 山根喜美代 宇田川時子 岡元 芳子 杉本 照世

## 人事

### 採用

〈寒川病院〉  
看護師 芹澤 洋子  
寒川病院勤務を命ずる  
平成二十九年十一月一日  
診療放射線技師 坂井 讓二  
寒川病院勤務を命ずる  
平成二十九年十二月一日  
〈神恵苑〉  
介護職員 若林 知絵  
神恵苑勤務を命ずる  
平成二十九年十一月一日  
介護福祉士 窪嶋 康人  
神恵苑勤務を命ずる  
平成三十年一月一日

### 退職

〈寒川神社〉  
主事 山縣 祐子  
願いに依り職を免ずる  
平成二十九年十一月三十日  
巫女 向川 亜美  
願いに依り職を免ずる  
平成二十九年十二月三十日  
〈寒川病院〉  
事務職員 内田 桂太  
願いに依り職を免ずる  
平成二十九年十一月三十日  
看護師 菊野 朝子  
規則に依り定年退職とする  
診療放射線技師 内野 木実  
願いに依り職を免ずる  
平成二十九年十二月三十日

### 任命

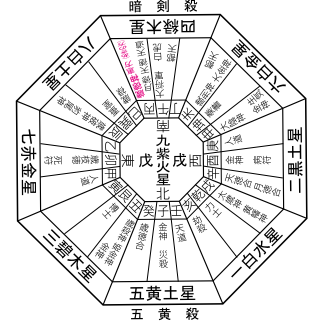
〈神恵苑〉  
看護師長 渡辺 雪子  
介護福祉士 武田 佳子  
願いに依り職を免ずる  
平成二十九年十二月三十日  
〈神恵苑〉  
看護師 安藤るり子  
看護師長を命ずる  
平成三十年一月一日



## 《厄年一覧表》

| 性別 | 年齢<br>(かぞえ年) | 前厄     | 本厄     | 後厄     |
|----|--------------|--------|--------|--------|
| 男  | 25歳          | 平成7年生  | 平成6年生  | 平成5年生  |
|    | 42歳          | 昭和53年生 | 昭和52年生 | 昭和51年生 |
|    | 61歳          | 昭和34年生 | 昭和33年生 | 昭和32年生 |
| 女  | 19歳          | 平成13年生 | 平成12年生 | 平成11年生 |
|    | 33歳          | 昭和62年生 | 昭和61年生 | 昭和60年生 |
|    | 37歳          | 昭和58年生 | 昭和57年生 | 昭和56年生 |

## 《方位吉凶早見表》



## 平成30年戊戌歳

※選暦や古希・喜寿なども厄年と考えられている場合もありますが、右記以外の年齢の方は当社では「八方除」の御祈願をお受け頂いております。









祝祭日には国旗を掲げましょう

【表紙写真説明】  
大倉陽月氏が描く、新年初詣ポスター

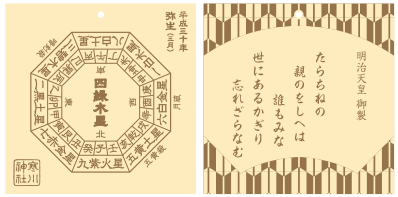
【題字】神社本庁 総長 田中恆清

# 『木札』

月次祭に  
ご参列された方などに  
お頒けする木札です



**寒川神社付近は、道路が大変混雑します  
公共交通機関をご利用下さい  
規制区域内での自転車通行は、ご遠慮下さい**



次号『相模512号』は  
4月1日(日)に発行します

第511号 平成30年1月1日  
発行所：寒川神社社務所  
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916  
電話：0467(75)0004(代)  
編集責任者：井上 浩之  
印刷所：株式会社さんこうどう  
<http://www.samukawajinjya.jp>

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。

## 後 編 集 記

少年館を卒館した中学生から「英語がすごく難しい」という悩みを聞きました。

そこで、こんなアドバイスを：「英語で使う文字は26文字。日本語は平仮名だけでも50文字。それを使いこなしているんだから、きっと大丈夫だよ」と。

日本語には、平仮名の他、カタカナも漢字もあります。一説では漢字は5万字ほどあるそうです。それを当たり前のように使っているのは、実はすごいことなのかもしれません。

自分が外国人だと想像すると日本語習得のハードルは相当高そうです…。

(互)